

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境	1 定員と利用スペースの関係が適切	2	4	0	
	2 職員の配置数が適切	6	0	0	
	3 設備のバリアフリー化への配慮	2	3	1	自立支援に向けた療育内容から過度にはしていない
業務改善	4 PDCAサイクルに職員が参画	6	0	0	
	5 アンケート調査から意向の把握と改善	1	5	0	良質支援に向けた積極的な情報公開を予定。今後の課題。
	6 評価表の公開	0	6	0	良質支援に向けた積極的な情報公開を予定
	7 第三者による外部評価	1	5	0	良質支援に向けた積極的な情報公開を予定。常に話し合う機会を設けているが、外部評価は課題。
	8 職員資質の向上に向けた研修機会	6	0	0	週に1度の研修機会(SST)
適切な支援提供	9 アセスメントの分析から支援計画作成	5	1	0	より丁寧な個人理解を目標。ケース会議を行い、ニーズの把握に努め計画作成をしている。
	10 標準化されたアセスメントツール	4	2	0	
	11 チームでの活動プログラムの立案	5	1	0	
	12 活動プログラムの創意工夫	4	2	0	
	13 平日、休日、休暇等課題のきめ細やかさ	6	0	0	
	14 状況に応じた集団・個別活動	6	0	0	
	15 支援内容や役割の事前打ち合わせ	5	1	0	
	16 支援の振り返りと共有	4	2	0	時間は決めていないが、ほぼ毎日。
	17 日々の支援記録の徹底と検証・改善	6	0	0	
18 定期モニタリングで支援計画の見直し	6	0	0		
	19 ガイドライン総則の複合支援	3	3	0	
関係機関や保	20 モニタリングに対象児童精通者の参画	6	0	0	ケース会議を事前に行った上で当日全スタッフ参画
	21 学校との情報共有や連絡調整	6	0	0	頻繁に行うようになった
	22 医療的ケアが必要な子どもの主治医との連絡	2	4	0	積極的にやってみようとしているが、現在医療的ケアを必要とする子どもは在籍していない。
	23 就学前施設との情報共有	2	4	0	報告書等であったが、徐々に併用施設などとの情報共有を行い始めた。
	24 卒業後、障害福祉サービスへの情報提供	2	4	0	移行事例はないが、必要な場合は積極的に行いたい。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点
保護者との連携	25 障害者支援センター等の専門機関との連携	6	0	0	
	26 障害のない子どもとの活動機会	1	5	0	普通の活動から積極的に関わらせるようになってきた。
	27 地域自立支援協議会等への積極的参加	2	4	0	必須要項と捉えている
	28 子どもの状況に関する保護者との情報交換	6	0	0	
	29 対応力向上に向けたペアレントトレーニング支	4	2	0	必須要項と捉えている
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援内容、利用者負担等への説	4	2	0	
	31 子育ての悩みに対する相談支援	5	1	0	
	32 支援を目的とした父母会設立と連携確保	2	4	0	必須要項と捉えている。保護者主催の学習会に講師として参加。積極的に連携を図っている。今後前向きに要検討。
	33 苦情時の体制整備と迅速・適切な対応	6	0	0	
	34 会報等で行事予定や連絡を発信	5	1	0	必須要項と捉えている
	35 個人情報への配慮	6	0	0	
	36 障害のある子どもや保護者への伝達配慮	6	0	0	
37 地域住民招待等の開かれた運営	1	3	2	是非やっていきたい	
非常時対応	38 緊急時・防犯・感染症対応マニュアルの周知	3	3	0	
	39 非常災害の避難等の訓練	4	2	0	年に2回(3月・9月)
	40 虐待防止の職員研修機会	4	2	0	
	41 やむを得ない身体拘束についての計画記載	2	4	0	
	42 食物アレルギーの医師指示書に基づく対応	5	1	0	医師に関わる場所までは達していないが必須と捉えている。以前、少量ながらアレルギー品を提供してしまったことがあり、それからは毎日全スタッフにて複数チェックして間違いないようにしている。
	43 ヒヤリハット事例集の共有	6	0	0	